会　議　録

会 議 名	2024 年度東浦町防災会議
開催日時	2025 年２月４日（火） 午後２時 00 分から午後２時 50 分まで
開催場所	緒川コミュニティセンター　ホール
出 席 者	別添「2024 年度東浦町防災会議委員名簿」のとおり
事 務 局	宇治田総務部長、新美防災危機管理課長、岡戸係長、中津川主事、池田主事 横山土木維持管理課長、静間課長補佐兼維持修繕係長、足立主査
議　　題	１　東浦町地域防災計画の修正について ２　東浦町水防計画の修正について ３　その他 （１）2024 年度防災事業の状況報告 （２）総務省と東京都中野区における災害時の特別行政相談に関する協定締結について
傍聴者の数	１名
審議内容	議題の審議内容については、別紙のとおり

審議内容

1　東浦町地域防災計画の修正について
（1）市町村地域防災計画の趣旨
（2）主な修正事項及び修正箇所
　ア　災害中間支援組織に係る修正
　イ　災害ケースマネジメント
　ウ　町の機構改革に伴う修正
【質疑・意見等】
○委員
　現行61ページ[災害対策本部組織表]の変更があるが、現行では避難所班、福祉・物資班、救護防疫班が救護部にまとめられていたところを、修正案では部が分かれている。指揮系統としては、避難所関係の班は分かれない方が円滑な対応に繋がると考えるがどうか。
●事務局
　現行の組織表では、平時の部分けと災害時の班構成が異なっており、別の部で所管する課を別の部長が指揮する体制となっていた。今回の修正で平常時と構成をあわせることで、平時からの連携強化を図る目的がある。
○委員
　そもそも組織表の表記が町民にとってわかりづらい。これは、班が仕事内容で書かれているためで、より分かりやすくするのであれば、ここに班ごとの構成課を記載するとよい。
●事務局
　班ごとの構成課については、次ページ以降の[災害対策本部の所掌事務]にて記載しているため、あわせて確認されたい。
○委員
　防災対応は、ひとつの課の力量では限界がある。これからの防災は、各課がつながりあって乗り越えていくことが重要である。本計画の各節に関係課を明記することが、連携につながると考える。来年度の機構改革を機に取り組んではどうか。
●事務局
　おっしゃるとおり、大規模災害時等は、防災危機管理課のみで乗り越えることは困難であると考える。ご意見を参考にさせていただく。本町では、防災計画に基づき各班でBCPマニュアルの作成等を通じ、職員の意識も向上してきている。今後もより一層強化していく。

2　水防計画の修正について

（１）東浦町水防計画の目的
（２）東浦町水防計画の主要な変更点
　ア　水防に関連する予報・警報の発表基準、伝達系統の変更
【質疑・意見等】
　〇委員
　　これまで、ハザードエリア内に住宅地等が整備されてきたことは、防災上問題があると考えている。
　〇委員
　　今できることとして、ハザードエリア内の居住者に対してとにかく早く避難することを呼び掛けることが大切である。

３　その他
（１）2024 年度防災事業の状況報告
　ア　地域防災力の充実
　イ　災害対策
　ウ　2024 年度能登半島地震　被災地支援
　エ　2024 年９月能登半島地震　被災地支援
【質疑・意見等】
　〇委員
　　ハザードエリア内の居住者にどう啓発したらよいか難しい。災害に弱い地域については、危険がある旨を町からより一層周知されたい。回答不要。

（２）総務省と東京都中野区における災害時の特別行政相談に関する協定締結について
　ア　概要
　イ　経緯
　ウ　協定内容
　エ　期待できる効果
【質疑・意見等】
　〇委員
　　埼玉県の陥没事故について、ニュースで話題となっている。本町においても、住民は不安に感じている。インフラについては、整備状況や整備には町民の負担金も使用している旨を住民に改めて周知してほしい。また、整備予算を重点的に計上してほしい。
　●会長
　　国に交付金の追加を要請し、前倒しで整備しているところである。今後も適正に整備していくが、整備には多額の予算が必要ということはご理解いただきたい。